

鹿児島県産のフィンガージョイント材^{※1}を使用した 伊万里木材市場の事務所棟 上棟 ～国産ツーバイフォー部材の利用促進現地研修会ルートに選定～

三井ホーム株式会社（本社：東京都新宿区、社長：市川俊英）は、グループ会社の三井ホーム鹿児島株式会社（本社：鹿児島県鹿児島市、社長：棚橋隆）が鹿児島県曾於市に、地元県産材を構造材として施工中の（株）伊万里木材市場の事務所棟が平成30年1月26日に上棟となることをお知らせ致します。

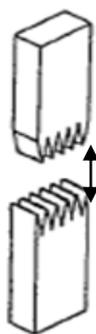
同社は従前より地元県産材の利用に取り組んでまいりましたが、本建物では、県産材のツーバイフォー工法用フィンガージョイント材（たて継ぎ材）^{※1}を主要構造材として採用しています。フィンガージョイント材とは、二つの木材をジグザグ状に加工し、その加工部双方を繊維方向に繋ぎ合わせ接着材で接合した木材^{※1}です。特徴として高い強度を持ち、反り・曲がりが少ないため施工性にも優れており、今回使用している材については、JAS規格による検査基準もクリアしています。

国内においては、「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」の改正や製造基準整備などが遅れていたため、認知度はまだ低い状況ですが、欧米ではその強度や反り・曲がりの少ないことや長物材への加工が可能であることなどにより構造材としての評価は高く、今後、国内においても国産材の効率的活用や長物材の供給に有効になると考えられます。

また、本建物は、国産ツーバイフォー部材の利用促進を図るために開催される鹿児島県木材協同組合連合会主催の「国産ツーバイフォー部材 利用促進現地研修会」の見学ルートにも選出されています。

当社は、今後も同エリアにおいて地元県産材の周知を進め、地域の振興に寄与するとともに、安心、安全で、地球環境と子どもにやさしい木造建築の普及に努めてまいります。

※1 フィンガージョイント材（たて継ぎ材）



原木市場における材長は3m～4mが主流であることから、製品加工する段階で多くの短材が発生する。本材は、これまで構造材として使用していなかったこれらの短材を、無駄なく活用するジョイント加工材で、安定供給及び環境保全につながる。また、木材の節・虫食い等の欠点を除去し、品質の良い部分のみで接合するため、品質の均一化が図れることから、反り・曲がりも少なく、施工性にも優れる。

<伊万里木材市場 事務所棟 概要>

■建設地	鹿児島県曾於市末吉町深川字落本 8, 515-2
■主要用途	事務所
■構造	木造枠組壁工法
■耐火・防火の種別	省令準耐火「建築物」
■階数	平屋
■延床面積	149.05㎡(45.08坪)
■着工日	2017年12月4日
■上棟日	2018年1月26日
■完成予定日	2018年3月18日
■建築主	株式会社伊万里木材市場
■設計	三井ホーム鹿児島株式会社
■施工	三井ホーム鹿児島株式会社

【参考】 国産ツーバイフォー部材 利用促進研修会スケジュール

主催：鹿児島県木材共同組合連合会

開催日時：平成30年1月26日（金） 10:00～15:30

案内場所：以下案内ルート

- ① 株式会社伊万里木材市場（構造見学現場 前頁記載概要による）
鹿児島県曾於市末吉町深川字落本 8 5 1 5 - 2
↓
- ② 株式会社さつまファインウッド（ツーバイフォー部材量産工場）
鹿児島県霧島市国分上野原テクノパーク 1 2 4 7 - 2 3
↓
- ③ ひより保育園（完成見学現場 三井ホーム鹿児島株式会社施工）
鹿児島県霧島市国分新町 2 - 1 5 - 5



鹿児島県産材を使用した鹿児島県霧島市ひより保育園
延床面積 718.59㎡(217.37坪)

以上

「&EARTH」ロゴについて

三井不動産グループでは、グループのロゴである「（アンド）」マークに象徴される「共生・共存」、「多様な価値観の連繋」の理念のもと、グループビジョンに「&EARTH（アンド・アース）」を掲げ、当社グループのまちづくりが常に地球とともにあることを認識し、人と地球がともに豊かになる社会をめざしています。

「（アンド）」マークの理念とは、これまでの社会の中で対立的に考えられ、とらえられてきた「都市と自然」「経済と文化」「働くことと学ぶこと」といった概念を、「あれかこれか」という「or」の形ではなく、「あれもこれも」という形で共生・共存させ、価値観の相克を乗り越えて新たな価値観を創出していくもので、平成3年4月に制定されました。

*この資料は、次の各記者クラブにお届けしております。

○ 鹿児島県政記者倶楽部

本件に関するお問い合わせ先
三井ホーム株式会社 広報部 広報グループ
高根・清宮 電話 03-3346-4649